

Rotary 

国際ロータリー  
第2620地区

# 御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場  
ロータリークラブ  
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

## 第2821回 例会プログラム

- 例会場／御殿場高原ホテル ● 開会点鐘／18:00
- ロータリーソング／我らの生業
- 内 容／観桜会(4クラブ合同) 長泉ロータリークラブ

## 会 員 慶 事

- 夫人誕生日／山口幸男君 ご夫人 勝子様
- 結婚記念日／小栗幹一君 祐代様 ご夫妻
- 橋本喜市君 晃実様 ご夫妻

## 4/2の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
52名	49名	42名	85.71%	100%

欠席者  
(7名)

池上 司君 永木栄太君 根上眞一君 瀬戸正人君  
嶋田康一君 高橋隆造君 田代明人君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

## 会 長 挨 拶

豊 山 篤



3月28日に御殿場ライオンズクラブ65周年記念式典と祝賀会に、幹事と共に出席してきました。特に祝賀会は、御殿場ライオンズクラブの姉妹クラブである小松クラブからも20名以上の参加もあり大変盛り上りました。

ライオンズクラブといえば主要な奉仕活動として、視力保護と盲人支援があり、検眼の推進を進めています。

この活動を始める大きなきっかけとなったエピソードをご紹介します。

1925年ライオンズクラブ国際大会にヘレン・ケラーが出席しスピーチを行いました。以下がその抜粋です。

『みなさん、これは私があなた方に持ってきたチャンスです。米国盲人連盟を助成し、支援してください。

予防可能な失明が根絶され、耳や目の不自由な子供がすべて教育を受けることができ、男性であれ女性であれ、すべての盲人が支援される日が早くやってくるよう、手を貸していただけませんか？

みなさん、見える目を持ち、聞こえる耳を持ち、力強く勇敢で親切なあなた方にお願いします。ぜひ盲人のために暗闇と闘う騎士になってください。』

ライオンズクラブではこの求めに応じ、活動の中に失明予防を目的とした視力プログラムが含まれるようになったそうです。

ここで、我らロータリークラブのポリオ撲滅活動

の概要を確認しておきましょう。

1985年にロータリーが「ポリオプラス」プログラムを立ち上げて以来、世界のポリオ発症数は99.9%減少しました。

ロータリーの活動は、単にワクチンを届けるだけでなく、現地で接種を行う医療従事者の育成、ウイルスの監視体制の整備、紛争地域での安全確保、そして誤情報によるワクチン忌避への啓発など、多岐にわたります

しかし、まだ完全な根絶には至っていません。アフガニスタンとパキスタンでは、紛争や社会情勢の影響で、すべての子どもにワクチンを届けることが難しい状況が続いています。

ロータリーは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との協力により、寄付の2倍上乘せという強力な支援体制を築き、根絶に向けた活動を続けています。

「あと 0.1%が、いちばん難しい」ということで、現在は「End Polio Now」というキャンペーンのもと活動をしています。

人類が絶滅させた感染症は「天然痘」のみです。ポリオがその2番目になる日は、もうすぐそこまで来ています。

最後に御殿場ライオンズクラブメンバーからの情報です。

ライオンズクラブにおける《ローア》の起源ですが、先にご紹介したヘレン・ケラーのスピーチに感動したライオンズクラブのメンバーが、ウォーと雄叫び、いわゆる咆哮をあげたことから始まったとのこと。

諸説ありとのことですが、信じるか信じないかはあなた次第です。



会長挨拶は  
こちら



よいことのために  
手を取りあおう

4月16日  
は休会です

次 回  
4月23日の  
例 会

★東山荘記念館 ★12:30  
★第3回クラブ協議会  
会長エレクト・幹事エレクト

環境月間  
卓話

アメラトマト生産における  
環境制御技術と次世代施設農業の取り組み



株式会社  
サンファーム富士小山  
代表取締役

齋藤 久哉 様

本日は、環境月間である4月の例会にお招きいただき、誠にありがとうございます。小山町に拠点を構え、高糖度トマト「アメラ」を生産しております株式会社サンファーム富士小山の齋藤でございます。本日は私たちの取り組みを通じて、農業の視点から見た環境配慮と、次世代へつなぐ農業経営のあり方についてお話しさせていただきました。

アメラトマトは、約30年前に静岡県農業技術センターで栽培技術が確立されました。私たちがここ小山町で大規模展開を決めた理由は、夏でも涼しい気候がトマト生産に適しており、効率的かつ安定した農業経営が可能であると考えたためです。現在、この農場は国の「次世代施設園芸」の静岡拠点に位置づけられており、全国10拠点のひとつとなっています。東京ドーム約1個分に相当する4ヘクタールの温室では、オランダ製の高度な環境制御システムを導入し、年間を通じて高品質なトマトの安定生産を実現しています。

こうした取り組みの中で重要なテーマとなるのが「環境負荷の低減」です。特に暖房に使用する重油の削減が大きな課題でした。そこで私たちは、小山町内企業から供給される木質ペレットを活用した大型ボイラーを4基導入し、従来の重油暖房とのハイブリッド運用を行っています。その結果、国の目標であった30%削減

を大きく上回り、現在では約60%の削減を達成しています。

また、光合成を促進するためのCO<sub>2</sub>施用においても、ハウス内の濃度を外気と同程度の400ppmに保ち、植物が吸収した分のみを補う仕組みとすることで、無駄のない効率的な運用を実現しています。

アメラの強みは、「最高品質のトマトで美味しさの感動を届ける」という明確なコンセプトにあります。独自の水分制御技術により、通常の3分の1程度の大きさで成熟させることで、旨味と糖度を極限まで高めています。品質管理においては、藤枝市のパッキングセンターにて年間約1,800万個を全数センサー検査し、安定した品質を確保しています。さらに、国内外での商標取得によりブランド価値を守る取り組みも進めています。

組織面では、20代から30代の若いマネージャーが中心となり現場を支えています。一般的な農業が年1~2作であるのに対し、私たちは年10~11作という多回転栽培を行うことで、若手人材の成長を加速させています。また、地域貢献として福祉事業所と連携した「農福連携」にも取り組み、就労機会の創出にもつなげています。

結びに、私たちが大切にしているのは「絶えず変化と進化を続けること」です。気候変動や社会の変化に対応しながら、環境負荷の低減、品質の向上、人材育成を一体として推進し、次世代に誇れる農業をこの小山町から発信してまいります。

3/12のメンバーシップ

11月1日	オープンハウス	鎌野篤志君
3月9日	北海道Eクラブ	田代明人君
3月11日	北海道Eクラブ	池上 司君
3月12日	北海道Eクラブ	梶 喜朗君
3月12日	北海道Eクラブ	鬼形慎太郎君
3月25日	北海道Eクラブ	勝亦敦志君
3月25日	北海道Eクラブ	永木栄太君
3月26日	北海道Eクラブ	柏原大地君



司会  
鎌野篤志君



出席報告  
梶 喜朗君



ソングリーダー  
勝亦敦志君

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日  
○例会場・事務局/YMCA 東山荘  
静岡県御殿場市東山1052  
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138  
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長 ○ 豊山 篤  
幹 事 ○ 勝又 厚  
会報委員長 ○ 勝又 淳